

第II卷・第2號

(通卷4號)

近畿甲蟲同好會

會 報

昭和22年3月

昭和二十二年三月二十七日印刷
昭和二十二年三月二十八日發行

兵庫縣川邊郡寶塚御殿山
編輯兼 大倉正文
發行人

大阪市旭區新森小路中二丁目九四
印刷所 宏榮社印刷所

兵庫縣川邊郡寶塚御殿山
大倉正文
發行所 近畿甲蟲同好會

VOL. II. NO. 2. THE KINKI COLEOPTEROLOGICAL SOCIETY MAR. 1947.

四國劍山に於ける吉丁虫相に就いて

(一新變種の記載を含む)

大阪府南河内郡富田林町512

伊 賀 正 汎

FAUNA OF BUPRESTID-BEETLES FROM
MT. TSURUGI, (1955M), AWA, SHIKOKU,
WITH DESCRIPTION OF A NEW VARIETY.
BY. MASAHIRO IGA

阿波の劍山は海拔 1955m, 石槌山に次ぐ四國山脈中の雄峰であり、徳島縣の西南端、高知縣境に近く聳える古生層の峻峰で、その生物相は非常に豊富且變化に富むが、交通の不便と、加へて宿舍其他の設備の不備なる爲、未だ充分なる調査が行はれず、現在に至るも尙殆んど未知の状態にある。筆者は1943年7月30日より8月7日に亘る間、河野洋氏及白井忠義氏と共に當地方に採集旅行を行ひ、其の間吉丁虫科に属する甲虫16種、1新變種、總個体數約50頭を採集するを得たので、此處に整理報告する次第である。

何分滞在期間が短かく、且調査不充分なる爲、當然採集さるべくして採集し得なかつた種も若干あるが、本文には蒐録せず今後の採集に俟つ事とした。

從つて、本報告には我々の確實に採集した種及平田信夫氏の採集品若干並びに1936年度に於ける西村猛氏採集品をあはせ記録した。

終りに臨み平素より種々御指導を頂いた黒澤良彦氏並びに採集標本の全てを、本研究の爲提供された河野洋氏及び標本の閱覽に種々便宜を得た白井忠義、西村猛、後藤光男、林匡夫、大倉正文の諸氏に感謝の意を表する。

1) 採集日程並びにコース

7月30日 大阪天保山出發

7月31日 早朝小松島着—阿波池田—大西…京上…落合…久保(泊)
(46km) (約4km) (約3km)

8月1日 久保…菅生(泊)
(約4km)

8月2日 菅生…名頃(泊)
(約8km)

8月3日 名頃…見の越(大剣社)(泊)
(約8km)

8月4日 見の越滞在

8月5日 見の越…山頂…一の森…追分…富士の池(剣山本宮)(泊)
(約4km) (山頂より約4km)

8月6日 富士の池滞在

8月7日 富士の池…谷口—穴吹—小松島—天保山
(桜橋を経て約14km)(約34km)

(註 =は汽車, 汽船—バス, …徒歩)

其他の登山路としては貞光よりバスにて古見に至り、見の越を経て山頂に至るコースがある。

II) 剣山の吉丁虫並びに一般甲虫相概観

剣山に於て採集された吉丁虫並びに一般甲虫類の内、特に注意をひく種類を概括すると大凡次の三系に分類されると思はれる。

A) 四國の北海道と云はれる祖谷溪地方の氣候の比較的寒冷、且剣山の高山なる爲、北方系或は本州、九州等の高山地帯の昆虫相と一致するもの

+1) *Agrilus viridis* LINNAEUS var. (山頂) アカベホソタマムシ

+2) *Coraeus rusticus* LEWIS (山頂) ルイスナガボソタマムシ

3) *Pseudosieversia japonica* OHBAYASHI (山頂) チャイロヒメコブハナカミキリ

4) *Rosalia batesi* HAROLD ab. *mediointerrupta* PIC (久保)
ルリボシカミキリ 異常型

5) *R. batesi* HAROLD ab. *prothoracebasimaculata* PLAVILISTSHIKOV
(久保, 菅生)

6) *Xylotrechus clarinus* BATES (見の越) ツマキトラカミキリ

7) *Rhaphuma acutivittis* KRAATZ (名頃) クワンボウトラカミキリ

8) *Rhodopis integripennis* BATES (見越, 富士の池) マルバネコブヒゲカミキリ

9) *Monochamus grandis* WATERHOUSE (名頃) ヒゲナガカミキリ

+10) *Trichius japonicus* BATES (名頃) トラハナムグリ

11) *Cucujus mnischevii* GROUVELLE (名頃) ルリヒラタムシ

12) *Cladiscus obeliscus* LEWIS (名頃) ホソクワクコウムシ

+印は四國未記録種

- 13) *Tenerus hilleri* HAROLD (久保) ツマグロクワクコウムシ
 +14) *Apoleca lewisi* SHARP (菅生) クロオビヒゲナガザウ
 15) *Phelopsis suberea* LEWIS (富士の池) アトコブゴミムシダマシ
 +16) *Phaeomachus rufipennis* MOTSCHULSKY (富士の池)
 ベニバナテントウムシダマシ
 17) *Endomychus plagiatus* GORHAM (菅生) キスデテントウムシダマシ
 +18) *Broscosoma donitzi* HAROLD (一の森) ミヤマヒサゴゴミムシ
 +19) *Dicranoncus femoralis* CHAUDOIR (菅生) ルリヒラタゴミムシ
 +20) *Oriocerus lewisi* JACOBY (見の越) ルリスクビナガハムシ
 +21) *Glischrochilus pantherinus* REITTER (菅生) ヘウモンオニケシキスビ

B) 本地域はその成因より見て、関連する大和山岳地帯の昆虫相と一致するものの

- +1) *Agrilus imitans* LEWIS (菅生) アヲモンナガタマシ(原産地: 大和柏木)
 2) *Nivellia* (*Munamizoa*) *maculata* MATSUSHITA et TAMANUKI (見の越)
 ムナミゾヘナカミキリ
 3) *Strangulina koyanaensis* MATSUSHITA (山頂) カウヤホソヘナカミキリ

C) 特に四國のみに分化せし種(本州には発見されない種)

- 1) *Auracocyclus patalis* LEWIS (名頃、見越、一の森、追分、富士の池、etc.)
 オニヒラタクワガタ
 2) *Apoderus jekeri* ROELOFS ab. *rufithorax* KOLBE (落合) オトシブミ異常型
 3) *Pterolophia leiopodina* BATES var. *tsurugiana* MATSUSHITA (菅生)
 シコクサビカミキリ
 4) *Agrilus lortunatus* LEWIS var. *tsurugianus* IGA (n. var.) (富士の池)
 コガネナガタマシ繸種
 5) *Strangulia* (s.str.) *latipennis* MATSUSHITA ab. *tsurugiana* HAYASHI et
 IGA (名頃) ハネビロハナカミキリ異常型
 6) *Valgus pictus sikokuensis* SAWADA (見の越) シュクオホヒラハタナムグリ

以上、筆者等の採集品に基き、その注目すべき種を挙げたが、今後の採集に依り更に興味深き種が得られる事は言を俟たない。

採集品中、天牛科の一部は已に林匡夫氏と共に公表したが未調査の甲虫類の全てを昨年六月罹災焼失した爲、本稿を充實したものとなし得なかつた點甚だ遺憾に思つてゐる。

猶今後同山に採集せられる諸彦の爲、その概要を簡単に述べる。

當山に於ける吉丁虫相は、可成り豊富であつて、その殆んどを材木、伐木、或は Beeting に依り採集した譯で、京上より見の越(大剣社)に至る間、所々に伐採所及び材木置場があるので吉丁虫のみならず天牛科、大蠶虫科、偽瓢虫科等の採集にはめぐまれてゐる様感じた。採集品中主なるものを挙げると、クロホシタ

- 1) *Insect World*, 48, (567), P. 126—129 (1944)
 2) *Insect World*, 49, (569), P. 27—28 (1945)

マムシ、アナタマムシ、クロタマムシ、ムツボシタマムシの一種、ヨツボシナガタマムシ、クロナガタマムシ、アラモンナガタマムシ、ケヤキナガタマムシ、ルリボシカミキリ異常型、コバネカミキリ、ゴマダラモモブトカミキリ、(*Acanthocinus griseus* FABRICIUS var. *orientalis* OHBAYASHI) オホアブラカミキリ、ヒゲナガカミキリ、チヤボヒゲナガカミキリ、ヒゲナゴゴマフカミキリ、タデスデゴマフカミキリ、カタシロゴマフカミキリ、トビイロカミキリ、クワンボートラカミキリ、ムネマダトラカミキリ、キスデテントウムシダマシ等皆以上材木上より得たものである、見の越より頂上に至る間は灌木、枯木、朽木等多く有名なオニヒラタクワガタ多く、ミヤマヒサゴゴミムシ、マルバネコブヒゲカミキリ、オホトラフコガネ等を得たる外、クロホソコバネカミキリ、(*Necydalis harmandi* PIC), ルイスナガボンタマムシ、アカバナガタマムシ等を採集してゐる。

頂上附近は小笹が密生して居り、高山植物多く *Pseudopidonia* 亞屬に屬する花天牛其の他金花虫、象鼻虫等が多く採集される様である。

富士の池附近は朽木最も多く、従てオニヒラタクワガタも、多産する様に思はれた。

猶採集行中、毎夜、夜間採集を行つたが、甲虫類は非常に少く、ヒゲナゴゴマフカミキリ、トビイロカミキリ、ハンノオホルリカミキリ、クリイロチビケブカカミキリ (*Terinaca atrofusca* BATES), ホソカミキリ等を得たのみであるが、それに反して、蛾類は非常に多く、全採集行を通じ數百種總個体數千餘頭を同行の白井氏に依り採集された。

III 採集品目録 (+印は四國未記録種)

FAMILY: BUPRESTIDAE

SUBFAMILY: CHALCOPHORINAE

TRIBE: CHRYSOCHROINI

(Genus: *Chrysobothris* SOLIER

1) *C. fulgidissima* (SCHOENHERR)

タマムシ

Syn. Ins., III, P.229 (*Buprestis*) (1817)

=*elegans* THUNBERG, Novae Ins. Spec. Diss., V, P.89.f.101 (*Buprestis*) (1789) (E.India).

=*fulgidia* OLIVIER, Ent., II, Gen. f.2, P.32, Pl.XI.f.124 (*Buprestis*) (1790)

=*coeruleocephala* MOTSCHULSKY, Etude Ent., X, P.6 (1861) (Tsu-shima)

Loc. Distr.-Fuji-no-Ike (1Ex., 5. VIII)

Gen. Distr.-Japan (Honsyu, Shikoku, Kyusyu, and Tsushima), Corea, Loo-Choo, Formosa

TRIBE: CHALCOPHORINI

(Genus: *Chalcophora* SOLIER

2) *C. japonica* GORY

ウバタマムシ

Monogr. Papr. Suppl., IV, P. 81, Pl. xiv, f. 77 (Buprestis) (1840)

= *chinensis* SCHAUFLUSS, Nunquam Officus, II, P. 480 (1879) (China)

Loc. Distr.-Kiyadaira (1Ex., 7. VIII)

Gen. Distr.-Japan (Honsyu, Shikoku, Kyusyu), Corea, Loo-Choo, Formosa, China, India.

松の樹間を飛翔中の本種を目撃したのみで採集するを得なかつた。

SUBFAMILY: BUPRESTINAE

TRIBE: BUPRESTINI

(Genus: *Lampra* LACORDAIRE

3) *L. vivata* LEWIS

クロホシタマムシ

Journ. Linn. Soc. Zool. London, XXIV, P. 329 (Poeilonota) (1893)

Loc. Distr.-Sugeoi (2Exs., 2. VIII, the author Leg., 1Ex., H. Kono. Leg. & 2Exs., T. SHIRAI Leg.)

Gen. Distr.-Japan (Hokkaido, Honsyu, Shikoku)

本稿脱稿後黒澤良彦氏は本種並びに *Lampra virgata* MUTSCHULSKY (Insect World, 50, (573) P. 2~5 (1946)) なる種に付き詳細發表され *L. masudai* KANO, (Lansania, I, P. 95 (1929)) なる種は *L. vivata* LEWIS の synonym なりと報告されてゐる。

(Genus: *Eurythyrea* LACORDAIRE

4) *E. tenuistriata* LEWIS

アラタマムシ

Journ. Linn. Soc. Zool. London, XXIV, P. 330 (1893)

Loc. Distr.-Sugeoi (1Ex., 2. VIII, the author Leg. & 1Ex., H. KONO. Leg.)

Gen. Distr.-Japan (Honsyu, Shikoku, Kyusyu)

菅生の材木置場にて、一頭は飛翔中を、一頭は小屋の柱に止つてゐるのを採集す。

黒澤良彦氏よりの私信に依れば、黒尊 (土佐) にても採集されたる由³⁾

Genus *Buprestis* LINNE

5) *B. (s.str.) japonensis* SAUNDERS

クロタマムシ

Journ. Linn. Soc. Zool. London, XI, P. 511 (1873)

= *coreana* OBENBERGER, Col. Rundschau, P. 50 (1917) (Corea, China)

= *coreana* var. *brunneola* OBENBERGER, Bull. Soc. Ent. France, P. 143 (1919) (Corea)

Loc. Distr.-Sugeoi (1Ex., 2. VIII, the author Leg. & 2Ex's., T. SHIRAI Leg.),

3) 其後 Insect World, 50, 574, P. 10 (1946) に報告されてゐる

Iyadani (6 Ex's., 31. VII. 1939, T. NISHIMURA Leg.).

Gen. Distr.-Japan (Hokkaido, Honsyu, Shikoku, Kyusyu), Bonin Is., Loochoo (Is. Iriomote), Formosa.

前種に混じ採集した。

Genus *Anthaxia* ESCHSCHOLTZ

6) *A. proteus* SAUNDERS ヒメクロタマムシ

Journ. Linn. Soc. Zool. London, XI, P. 511 (1873)

Loc. Distr.-Top of Mt. Tsurugi (2Ex's., 5. VIII).

Gen. Distr.-Japan (Hokkaido, Honsyu, Shikoku, Kyusyu), Corea, Kashmir.

山頂附近の灌木より Beeting にて得た。

TRIBE CHRYSOBOTHRINI

Genus *Chrysobothris* ESCHSCHOLTZ

7) *Chrysobothris* sp.

本種は本土産既発表の *Chrysobothris* 属の何れにも属せず、黒澤良彦氏の私信に依れば新種と認められたる由、詳細は何れ同氏に依り記載発表されるので、本文には採集記録のみに止めて置く。

Loc. Distr.-Sugeoi (2Ex's., 2-VIII, the author Leg. 3Ex's., H. KONO Leg. & 1Ex., T. SHIRAI Leg).

Gen. Distr.-Japan (Shikoku).

TRIBE AGRILINI

Genus *Coerebus* CASTELNAU et GORY

+8) *C. rusticus* LEWIS リュキスナガボンタマムシ

Journ. Linn. Soc. Zool. London, XXIV, P. 331 (1892)

=*C. kamikochianus* KANO; Lansania, I, P. 96 (1923)

Loc. Distr.-Top of Mt. Tsurugi (3Ex's., 5. VIII, H. KONO Leg. & 1Ex., T. SHIRAI Leg.).

Gen. Distr.-Japan (Honsyu, Shikoku (new habitat!), Kyusyu).

體長9~9.5mm (Type標本10.5mm) 體は黒色味を帯びた青銅色にして、頭部、前胸背板は、真鍮銅色乃至赤銅色光澤を有し、翅鞘中央及末端には、四條の不明瞭なる白色波狀帯を裝ふ、翅端は圓く、小齒狀突起を有する。

筆者所藏の奈良縣彌山産 (7. VIII. 1940. T. SHIRAI Leg.) の本種に比し、少々小型 (彌山産 10.2mm) なるも、何等の異常を認めず、四國よりは最初の記録である。山頂附近には可成り産する様であるが他に採集された事を聞かない。

Genus *Agrilus* STEPHENS

+9) *A. alazon* LEWIS ヨツボシナガタマムシ

Journ. Linn. Soc. Zool. London, XXIV, P. 333 (1892)

Loc. Distr.-Kubo (2 Ex's 1. VIII. H KONO Leg), Nagoro (2 Ex's 1. VIII. 1943. N. HIRATA Leg)

Gen. Distr.-Japan (Honsyu (new habitat!), Shikoku (new-habitat!), Kyusyu),

體長 11.5mm 頭胸部は僅かに金綠色を帯びたる紫藍色にして、翅鞘は緑紫色、體下は、真鍮銅色を呈す。外形は *A. cyaneoniger* SAUNDERS に似るも、(頭胸部並びに翅鞘に於ける點刻は粗大なり。翅端は少々尖鋭角をなし、鋸齒状に終る。翅鞘には、縫合線に副ひ白色の密な細長毛より成る鮮明な小斑紋各四個を裝ふ。

本種の色彩はその産地に依り幾分變化あるものの如く、原記載に依れば (Type Loc.-Yuyama in Higo, Kiusiu) "The thorax golden green;.....The elytra cyanaceous and sometimes greenish;.....Beneath, the colour is wholly coppery;....."と記されて居り四國産のものに於ては前胸背版は前記の如く著しく紫藍色を帯び、大阪府箕面産 (2. VI. 1940, the autho. Leg) にては紫藍色光澤を全然欠き頭胸背版は金綠色に輝き、翅鞘は暗綠色、體下は銅色を呈する。

Agrilus ajax KERREMANS (シラホシナガタマムシ) として福井縣より報ぜられた種は本種⁴⁾ と思考せられる。綠色光澤の著しい個體の様である。

本州、四國よりは未記録である。

猶 *Agrilus ajax* KERREMANS (Arch. f. Naturg., LXXVIII, A, 7, P. 207 (1912)) として、屢々圖鑑に臺灣より記録されてゐる種と本種との關係に就いては、黒澤良彦氏と共に稿を改めて發表の豫定である。

10) *A. cyaneoniger* SAUNDERS クロナガタマムシ

Journ. Linn. Soc. Zool. London, X I, P. 512 (1873)

Loc. Distr.-Kubo (2 Ex's., 1. VIII) Sugeoi (1 Ex., 2. VIII. & 3 Ex's T. SHIRAI Leg).

Gen. Distr.-Japan (Hokkaido, Honsyu, Shikoku, Kyusyu, Tsushima), Manchuria.

+ 11) *A. fortunatus* LEWIS コガネナガタマムシ

Journ. Linn. Soc. Zool. London, XXIV, P. 333 (1892)

Loc. Distr.-Fuji-no-Ike (2 Ex's., 6. VIII).

Gen. Distr.-Japan (Honsyu, Shikoku (new habitat!)).

體長 8-8.5mm 體上面は美麗なる金綠色に輝き、特に顔面は綠色光澤著し、體下は銅色にして、翅鞘には各三個の白色鱗毛よりなる小斑紋を印す。翅端は鈍圓にして、細かく鋸齒状に刻まる。

4) 原色福井縣昆虫圖譜。福井縣に於ける南系種 (1933)

5) 加藤正世; 原色日本昆虫圖鑑 (1933) PL. 29, f. 13.

6) 平山修次郎; 原色甲虫圖譜, (1940); PL. XXV II, f. 1, P. 70

原産地は Kiga, Nikko, Chiuzeiji にして、筆者所有の奥日光丸沼産 (2 雌, 12. VIII. 1943) に比し、體は稍大型にして (丸沼産のものは 7.5mm) 僅かに緑色味強く、且點刻も深く印せらる、むしろ鳥取縣大山産の標本 (VII. 8. 1941. T. NISHIMURA'S COLLECTION & 18. VI. 1937 M. HAYASHI Leg.) に近似す、本種は *Agrilus sospes* LEWIS に酷似するも *A. sospes* は體は稍々銅色を帯び、より頑強 (robust) にして、觸角は短かく、且つ各節の緻密 (compact) なる事に依り區別し得原産地は肥後湯山であるが筆者は京都府貴船、木曾、上高地、赤倉等より採集された標本を検してゐる、

猶本種は、四國よりは未知の種にして、富士の池剣山本宮前の半枯り樺より得たるものである、

11) a. *A. fortunatus* LEWIS var. *tsurugianus* nova.

本變種は原種に比し、著しく緑色味を帯び、頭部並びに翅鞘は緑青色 (特に翅鞘前半部は紫藍色の光澤を有す) 前胸背板は稍々金綠色に輝く、翅鞘基部の第一紋は殆んど痕跡を認めず、第二、第三紋は僅かに之を認め得るに過ぎず、前胸背板の横皺、並びに頭部、翅鞘に於ける皺刻は著しく深く印せられる、

翅端は原種に比し、丸味少く鋭角を成し、著しく接近す、全體丸味を帯び頑丈な感を抱かしむる事に依り區別し得、

他の諸點に於ては原種と異る所無し、

Length, 8.3mm; breadth, 1.8mm.

Holotype, 1 雌, Mt. Tsurugi (Fuji-no-ike) in Awa, (Tokushima,) Japan., 6. VIII. 1943, the author Leg.

〔附記〕: 原種に混じ富士の池剣山本宮前の樺の枯木より採集す、

11-12) *A. imitans* LEWIS アラモンナガタマムシ

Journ. Linn. Soc. Zool. London, XXIV, P. 332 (1892)

Loc. Distr. Sugeoi (1 Ex., 2. VIII).

Gen. Distr. Japan (Honsyu, Shikoku (new habitat!), Kyusyu).

體長 9.8mm. *Agrilus spinipennis* LEWIS に似るも翅端に棘状突起を有せず。頭部は金綠色の光澤を有せる黒色、前胸背板は美麗なる金綠色光澤を有し、翅鞘は黒色にして緻密に彫刻せられ翅端は鋸齒狀に終る。

中條道夫氏同定の鹿兒島産 (城山 2 Ex's, 5. VII. 1942. & 1 Ex., 1. V. 1941 Y. TAKEMURA Leg.) の本種に比し、前胸背板の赤色味弱く、頭部の金綠色の光澤は強し。原産地は大和柏木にして、本州、四國、九州に産す、四國よりは未記録である。

1-13) *A. spinipennis* LEWIS ケヤキナガタマムシ

Journ. Linn. Soc. Zool. London, XXIV, P. 332 (1892)

Loc. Distr.-Sugeoi (22Ex's, 2. VIII, H. KONO Leg)

Gen. Distr.-Japan (Honsyu, Shikoku (new habitat!))

原種に混じ一頭、頭部、前胸背板の全く、金又は銅色光澤を缺き、緑色の光澤を有する個體を検した、

1-14) *A. viridis* LINNAEUS var. アカバホソタマムシ

Syst. Nat. (ed 10), P. 410 (1750)

Loc. Distr.-Top of Mt. Tsurugi (1Ex., 5. VIII)

Gen. Distr.-Japan (Honsyu, Shikoku (new habitat!)), Saghalien, Baikal.

原記載を未だ見得ない爲、果して本種なりや疑問であるが、平山修次郎氏の原色甲虫圖譜に依り一應本種として記録す。

體長 9.5mm. 體上面は赤色に輝き、頭胸部は少々金綠色を帯ぶ、體下は青銅色翅端は丸く終る、内地産の本種(島々谷 2Ex's, 29. VII. 1940 M. OHKURA Leg.) 白根山 8. VIII. 1940. T. NISHIMURA Leg.) と比し、何等の異常を認めず、本種は先に三輪勇四郎、中條道夫の兩氏により樺太小沼より報告され、又平山修次郎氏の原色甲虫圖譜に蒐録され本州より報告されてゐる。

筆者は本種を劍山頂上近くの雜木を Beeting する事に依り採録せり、

筆者の知る範圍に於ては本種は何れも本州にては高山地帯のみに産し、*Coraeus rusticus* LEWIS と共に劍山々頂附近より採集された事は興味深き事實である。

四國よりは未記録種なり、

尙本種の學名に關し、黒澤良彦氏より、*A. viridi* は誤にして *A. viridis* なる由通知を得たので上記種名を採用せり、

15) *Agrilus* sp.

Loc. Distr.-Taniguchi (1Ex., 7. VIII. H. KONO Leg)

A. pilosovittatus SAUNDERS に酷似する小型の種であるが、昨年度罹災の節焼失し、今同定し得ない點甚だ遺憾である、谷口に於てバスの車内に飛込んだものを採集、

Genus *Trachys* FABRICIUS

16) *T. griseofasciata* SAUNDERS ナミガタチビタマムシ

Journ. Linn. Soc. Zool. London, XI, P. 521 (1873)

Loc. Distr.-Kiya-daira (1Ex., 7. VIII)

Gen. Distr.-Japan (Hokkaido, Honsyu and Shikoku)

(Ang. 1946)

8) Nippon no Kochu, I, (2), P. 74 (1940)

9) Pl. XXVII, fig. 18, P. 72 (1940)

参 考 文 献

- 1) E. SAUNDERS, (1973); Description of Buprestidae collected in Japan by GEORGE LEWIS, Journ. Linn. Soc. Zool. London, XI, P. 539—523.
- 2) G. LEWIS, (1892); On the Buprestidae of Japan, Journ. Linn. Soc. Zool. London, XXIV, P. 327—333.
- 3) CH. KERREMAN, (1912—1913); N. SAUTER'S Formosa-Ausbeute. Buprestiden (I—III), Arch. f. Naturg., LXXVIII, A, 7, p. 203—209, LXXXVIII, A, 11, P. 110—116, LXXIX, A, 8, P. 103—107.
- 4) 三輪勇四郎, 中條道夫 (1935); 日本産未記録のタマムシ, 昆虫界, III, (17) P. 270—232, Pl. 105.
- 5) 〃 (1940); 日本産タマムシ科の新種及稀種圖説, 日本甲虫, III, (2), p. 53—74, Pl. VII.
- 6) 〃 (1933); 日本産鞘翅目分類目録 (吉丁虫科).
- 7) 三輪勇四郎 (1933); 日本甲虫分類概, P. 133—133 (吉丁虫科).
- 8) T. KANO. (1923); Four new species of Buprestid Beetles from Japan; Iansania, I, P. 94—96.
- 9) M. CHUJO, R. MATUDA. (1940); A list of the Buprestid-beetles from Kagosima Districts, Southern End of Kjusyu, Japan, Mushi, XIII, (1), P. 62—53.
- 10) 矢野文彦, 竹中英雄 (1933); 大夏育及其の附近に於けるタマムシ科の分布, 昆虫界, VII, (63), P. 579—588.
- 11) 神谷一男 (1933); マスダクロホシタマムシ *Iampra masudai* KANO とその幼虫に就いて, 昆虫, VII, (4), P. 170—172.
- 12) 中條道夫 (1940); 北竿産タマムシ四種に就いて, むし, XIII, (1), P. 40—42.
- 13) 尾池一清 (1931); 土佐寛如寺山甲虫相, 昆虫界, II, (12), P. 597—602.
- 14) 近藤勝 (1934); 徳島縣岡山附近並に吉野川北井上村附近の甲虫類目録, 昆虫界, II, (12), P. 618—631.
- 15) 草薙忠明 (1933); 四國産鞘翅類採集目録, 昆虫界, IV, (27), P. 237—329.
- 16) 高橋尚孝 (1936); 吉野川下流地方の昆虫相(9), 昆虫界, IV, (23), P. 335—404.
- 17) 大久保一治 (1933); 四國産未記録甲虫類, 昆虫, XIII, (3), P. 112—125.
- 18) 〃 (1933); *Chrysodema lewisi* SAUNDERS アヤムネスデタマムシ 四國に産す, むし, XII, (2), P. 82.
- 19) 南原五郎 (1933); アヤムネスデタマムシの新産地, 昆虫界, VII, (59), P. 33—34.
- 20) 山田保治 (1932); 古代美術に應用せられし「タマムシ」に關する研究
- 21) 林三夫, 伊賀正汎 (1944); 天牛分布資料(一), 昆虫世界, 43, (557), P. 123—129.
- 22) 〃 (1945); 天牛分布資料(二), 昆虫世界, 43, (569), P. 27—28.
- 23) 福井縣博物館會 (1933); 原色福井縣昆虫圖譜
- 24) 平山修次郎 (1940); 原色甲虫圖譜
- 25) 加藤正世 (1933); 原色日本昆虫圖鑑 (9) (1946. Aug.) (追加)
- 26) 黒澤良彦 (1946); 日本産及近隣産吉丁虫數種の學名に就いて (I), 昆虫世界, 50, (573), P. 1—5.
- 27) 黒澤良彦 (1946); 日本産及近隣産吉丁虫數種の學名に就いて (II), 昆虫世界, 50, (574), P. 7—10.